

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教科： 地歴 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 9 組

教科担当者： （1組：桑名）（2組：桑名）（3組：桑名）（4組：桑名）（5組：飯田）（6組：飯田）（7組：飯田）（8組：飯田）（9組：飯田）

使用教科書：（明解 歴史総合（帝国書院））

教科 地歴 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して 多面的・多角的に考察し
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を：

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

1 学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	1章 歴史を私たちが 【知識・技能】身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて自ら調べようとしている。	・歴史が私たちの暮らしについて ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて自ら調べようとしている。	○	○	○	2
2章 歴史的特質と資料 1節 資料を取り扱ってみよう 2節 歴史叙述とは何か考えてみよう 【知識・技能】絵画・史料・数値など歴史における史料の重要性と、事実と解釈を分けて読みとるなどの正しい読み解き方について理解している。	・資料と事実・解釈について ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】絵画・史料・数値など歴史における史料の重要性と、事実と解釈を分けて読みとるなどの正しい読み解き方について理解している。	○	○	○	2	
1章 江戸時代の日本と結び付く世界 【知識・技能】18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	・18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのかを理解する。 ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	4	
2章 欧米諸国における近代化 【知識・技能】市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】市民革命や産業革命が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	・欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したかを理解する。 ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】市民革命や産業革命が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	5	
3章 近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	・近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったかを知る。 ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	4	
4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	・近代化し欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したかを考察する。 ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	4	
定期考査				○	○		1
5章 近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	・日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化したかを知る。 ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	4	
1章 第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】国際関係の視点から、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従軍地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	・第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったかを理解する。 ・明解 歴史総合（帝国書院） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、調査・追究する。	【知識・技能】国際関係の視点から、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従軍地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	4	

